

平成28年度 課題研究発表会



隠岐水だより

隠岐水産高等学校 PTA だより



1月20日(金)、隠岐島文化会館(大ホール)にて「平成28年度 課題研究生徒実践発表会」が行われました。生徒達が普段行っている授業内容や課題研究などを、一般の方々や島内の中学生に知ってもらおうと今回は4組の生徒達が発表を行いました。発表内容は「新製品の開発に向けて(サバオイル缶)」「救おう地球、レジレンペレットと海洋汚染」「隠岐の特産品板ワカメの復活(フリーズ配合体によるワカメ養殖)」「サザエ剥き2016」「機能的食品の開発」とことんDTPプロジェクトなど、地域の活性化を目指した発表が多くありました。

司会進行もすべて生徒が行い、生徒会長の「隠岐水産高校の取り組みを沢山知ってください」との挨拶から始まり、発表が終わった後の生徒達の表情は自分達のやってきた事に自信を持つと同時にやり遂げた達成感にみちあふれていました。今年で5回目となりますが、過去の先輩達の発表を見ている生徒達がさらに発表内容や発表方法を工夫し、より楽しく発表会を行っているように感じました。こういった取り組みが自分達の力でできた事に自信を持ち、実社会でも活躍してくれることを願っています。

寒さに負けない 伝統の「寒稽古」

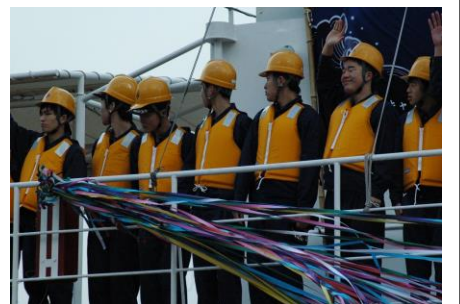
本校の伝統行事である寒稽古が2月6日(月)から10日(金)までの5日間行われました。3年生は自由登校のため、本科1・2年生に教員も混じり行っています。稽古には、「克己」の精神を養い、お互いを尊重する態度を学ぶ。柔道の技術向上を図り、武道を通して積極的な姿勢、礼儀作法を学ぶ」という目的があります。1限目の授業の時間を使い、ランニングやストレッチで体をほぐした後、寒さに負けないよう気合を入れ、受け身・寝技・乱取りを行います。稽古中は例年と違い多少暖かく生徒達の表情には余裕が見られていましたが、目立つ言葉は「寒い」、「痛い!」など情けないものがありました。しかし、稽古を重ねるにつれ気合いと熱が入り、最終日の納会では、どの試合もとても見応えのある素晴らしいものでした。寒稽古を通じて目的を達成できたように思います。また、試合終了後には、生産コースの先生方に温かい「ゼンざい」を用意していただきました。この稽古を通じて学んだ事をこれからの生活にいかしてほしいと思います。



第二次 神海丸マグロ操業実習 出港式

1月12日(木)、西郷港メガフロート岸壁にて、平成28年度第二次マグロ操業実習の出港式が行われました。新しい神海丸になり、4年が経ちました。今回の航海は海洋システム科36名、専攻科13名が乗船し、ハワイ沖マグロはえ縄実習へ向けて出港しました。実習生代表の宮沢 祐介君より「この航海実習を通して、沢山のことを学び、船舶関係の知識や技術の習得に取り組んでいきます。」と力強い挨拶がありました。西郷港を出航後は浜田に立ち寄り、実習生乗船後は、ハワイ沖へ向けて航海が始まりました。1月30日より初縄、操業開始となり、現在も毎日操業を行っています。例年と比べると周囲に外国船が多く操業を行っているようです。健闘を祈ります。

神海丸の情報は本校のホームページに「神海丸だより」というコーナーもあります。ですのでそちらの方もご覧ください。



盛況だった 予饞会

予饞会

生徒会主催による予饞会が2月3日(金)に開催されました。生徒会を中心にお世話になった3年生に感謝の気持ちを伝えるため、毎日遅くまで練習や企画を練っていました。ダンスやコントもあり、大きな盛り上がりを見せていました。思い出ビデオやサプライズビデオの上映もあり、それぞれの胸にさまざまな思いがあったように感じています。3年生には卒業後もそれぞれの進路で活躍してもらいたいと思います。そして、先輩達の築きあげた伝統を後輩達がしっかりと受け継いでいくことを期待しています。

